

駒木会報

第23号

発行日: 2023年9月6日
発行: 江戸川大学駒木会
所 在: 千葉県流山市駒木474
電 話: 04-7152-0661

第23回総会を引き続きオンラインで開催



2022年11月3日16時より、駒木会総会がオンラインで開催されました。本来であれば駒木祭(学園祭)開催に合わせホームカミング・デーの一環として、交流パーティーやその他のイベントと共に開催しているところですが、新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、引き続きオンラインでの総会のみ開催という形となりました。

今回の総会も2021年度と同様に、最小限の役員のみが大学の会議室に集まり、役員を含む他の方はリモートで参加するという形式で開催しました。会議室では座席間に十分な距離をとり、マイクも1人1本で会議中に手渡しをしないなど、感染防止策をとりながらの開催となりました。

総会では、活動・収支報告、活動計画・予算について審議を行い、全て賛成多数で可決されました。また、2022年度末で会長及び役員の任期満了に伴う選挙実施に向けて、選挙管理委員の委嘱についてお知らせしました。

3回目のオンライン総会ということもあり、準備をスムーズに進めることができ、トラブルなく総会が終了しました。会員の皆様にはご理解・ご協力をいただき、誠にありがとうございました。この場を借りて御礼申し上げます。

大学近況

■上越教育大学との連携・協力に関する協定を締結

6月22日、江戸大は新潟県上越市の国立大学法人上越教育大学(学長:林泰成)と連携・協力に関する協定を結びました。

本協定は、教員養成、教育、研究等における人的・物的資源の相互活用その他連携協力を推進することにより、それぞれの活動の充実を図るとともに、我が国及び地域の発展に寄与することを目的としたもので、この協定に基づき、「上越教育大学と江戸川大学における上越教育大学大学院学校教育研究科への学生受入れ及び学生支援に関する覚書」を締結しました。

両大学の教員養成や公認心理師養成のより一層の充実や研究活動の更なる発展が期待されます。

■西武台千葉中学校・高校および日本体育大学柏高校との連携協定調印式を開催

江戸大は6月27日に西武台千葉中学校・高校と、7月13日に日本体育大学柏高校とそれぞれ連携協定を結びました。これは、情報文化学科で毎年開催してきた情報教育研究会やサイエンスセミナーなどを通してそれぞれの学校と

2023年11月3日ホームカミング・デー開催

今年度はホームカミング・デーが復活することになりました。

例年は総会とともに交流パーティーを開催しておりましたが、今年度は下記のイベントを開催いたします。

■Komaki Homecoming Cafe

場所: B棟5階504教室

日時: 2023年11月3日(金・祝) 11時~16時

卒業生が集うカフェをテーマに、オリジナルデザインのおやつ(数量限定)、お菓子をご用意してお待ちしております。

懐かしい写真も準備していますので、再開した仲間との思い出話も盛り上がるかと思います。お待ち合わせやご休憩にもぜひご利用ください。

■駒木会総会

日時: 2023年11月3日(金・祝) 16時~

駒木会の運営等について審議します。

今年度はハイブリッド開催となります。現地にお越しになれない方はリモートでご出席いただけます。

※詳細は、後日HP、SNSにてお知らせいたします。

交流を深めたところ、より教育を良くするためには生徒と学生の交流を深化させることが重要だと相互に認識するに至ったためこの度協定を結ぶことになったとのことです。

■現代社会学科・中島慶二教授監修の『アウトドア六法』が出版

コロナ禍以降、キャンプをはじめとしたアウトドアブームが起きていますが、マナー・ルールなどをしっかりと把握しないまま、知らないうちに違法行為を行っていたというケースも少なくありません。また、アウトドアアクティビティを行う人同士でトラブルになり、裁判沙汰となってしまうケースも見受けられます。そうならないために知っておくと便利な法律などをQ&Aなどを交えた解説がわかりやすく載っているのが現代社会学科の中島慶二教授(江戸川大学国立公園研究所所長)が監修した『アウトドア六法 正しく自然を楽しみ、守るための法律』(山と溪谷社)になります。アウトドアに興味がある方はぜひ一読ください。

【参考 URL】山と溪谷社: アウトドア六法 正しく自然を楽しみ、守るための法律
<https://www.yamakei.co.jp/products/2822500490.html>

すごい流山の大学

社会学部現代社会学科 教授
阿南 透



地方に行くときよく聞かれます。「江戸川大学ってどこにあるんですか?」

「千葉県流山市です」と答えても、これまではピンと来ない人がほとんどでした。確かに大学の所在地は流山市ですが、古い卒業生の皆さんは、柏駅経由で通学される方が多かったのではないのでしょうか。柏駅西口バスターミナルから高田車庫行きのバスに乗って梅林で降りて住宅地の中を歩いたり、東武野田線（現・アーバンパークライン）豊四季駅から、途中で歩道がなくなる県道をてくてく歩いたり、流山市との縁を日頃はあまり意識しなかったのではないのでしょうか。

ところがつづばエクスプレスの開業により、事情は一変しました。今では流山おおたかの森駅から大学まで無料のスクールバスが走っています。このため流山おおたかの森駅が江戸川大学の玄関口になり、学生の生活圏も変わっています。

流山おおたかの森駅は、もはや流山市の中心と言えるほどの賑わいです。大型ショッピングモールが充実している上に、次々に新しい店がオープンし、さらに成長中です。「千葉のニコタマ」という異名もあるほどお洒落で千葉県らしくない街だそうですが、特に、子育て世代に人気のある街になりました。流山市は千葉県で人口増加率1位です。最近では『流山がすごい』という本が出て（大西康之著、新潮新書）、都心のマンションに住む子育て世代の引っ越し先として小説に描かれる機会もあるようです。

大学とはこぶさたになっている皆さん、ぜひ流山おおたかの森駅を経由して大学に来てみてください。今の学生はこの素晴らしい街で学んでいます。そして、私たちもいつの日か、有名になった流山市で、「流山といえば江戸川大学」というイメージを作りたいものと願っております。

「大学生だから出来ることをやっておけ」

メディアコミュニケーション学部
情報文化学科卒業
2015年3月卒業（第22期卒業生）
佐藤 創



この言葉は大学2年生の私に、3つ上の兄が言った言葉でした。既に社会人になっていた兄からの言葉は説得力があり私の心に深く刺さりました。そんな言葉を受け、私が最初にやったことは「金髪に染めること」。その結果は街中で知らない人に絡まれたぐらいで、大した効果は感じられませんでした。いま振り返っても若気の至りとは思わないし、自分の殻を破る良いきっかけになったと思います。そんなきっかけから在学中は、学生リーダーを務めたり、地域のフリーペーパーを作ったり、様々な経験を積むことができました。

中でも、街の課題を学び解決策を検討する「かわ市市民大学」に1年間参加したことは強く印象に残っています。柏市に在住、在勤、在学する18歳以上の人が対象でしたが、参加した学生は私だけで当初は「場違いだったかな」という戸惑いもありました。しかし、様々な経歴や職種の方々と一緒に学び、話し合いをすることは普段とは違うワクワクがあり、学生の立場だからこその学びがたくさんありました。一それから約10年後。この事業を企画していた、柏市役所の協働推進課という部署が、現在の私の勤め先になりました（正確には組織改変のため、市民活動支援課）。大学卒業後は、ケーブルテレビに就職しましたが、縁あって現在の職場に勤めています。市役所の仕事は定型的な業

務が多い印象でしたが、実際に働いてみると、多くの課題に直面し、解決策を模索していかないとイケない局面にきているを感じています（私の担当で言うと、町会・自治会の担い手不足や、高度経済成長期に建設された公共施設の老朽化等）。そんなときに「行政の立場だから出来ること」を考えることで道が切り開くことがあります。大学生や行政、市民等々、それぞれの立場だからこそできる事を考え実行することの重要性を日々実感しています。そんな大切な言葉をくれた兄は昨年から名古屋市の一社駅前で「sunny day」というカフェをオープンしました。お近くの際はぜひ、お気軽にのぞいてみてください。



ニュージーランドでの出会い

メディアコミュニケーション学部
こどもコミュニケーション学科
2021年度入学
山本 菜名



2022年、ニュージーランド研修が復活しました。今まで毎年行っていた異文化研修でしたが、コロナの影響で開催が難しい状況が続いていました。そんな中、コロナが完全になくなっていない状況ではありましたが、現地のマッセイ大学協力のもと異文化研修を復活させていただきました。ニュージーランドに飛び立ち、現地の文化に直接触れることのできた2週間は私にとって忘れられない、かけがえのない時間でした。見るもの全てが初めてで車やバスから見えるちょっとした景色すらも美しく、感動したのを覚えています。そして多くの出会いもありました。本当の家族のように優しく接してくれたホストファミリーの方々、英語が未熟な私たちに優しく指導してくださったマッセイ大学の先生方などたくさんの人と出会い、仲良くなること

が出来ました。やはり、言葉の壁は大きく自分の気持ちをうまく伝えられなかったり、ホストファミリーの言葉が聞き取れず何度も聞き返してしまったりすることもありましたが、その度に現地の人々の優しさに救われました。そして、言葉の壁に直面した時に感じた悔しさやもどかしさは、今後の英語学習に対する大きな意欲となりました。2週間の異文化研修を終えて私は、「行って良かった」と心から思うことが出来ました。ニュージーランドで過ごした2週間は今でも鮮明に私の心に残っています。コロナ禍の中、異文化研修を実現するためにご尽力頂いた全ての方々に心から感謝しています。ニュージーランドで過ごした経験を糧に、今後も大学での学習に精一杯取り組んでいきたいと思っています。

活動報告

駒木会では3ヶ月に1回程度、理事会・評議員会を開催したほか、下記の通り活動を行いました。

2022年

- 8月 2023年度の基本方針等について打ち合わせを実施しました。
- 8月～ ホームカミング・デーについて議論
- 10月 駒木会会報を発行
総会について最終調整
当日スケジュールの確認
- 11月3日 オンラインにて総会を実施
※総会について詳しくは号今1ページ目をご覧ください

2023年

- 2月～ 駒木会報の記事、ホームカミング・デーイベント等について議論
- 3月4日 駒木会駒木会会長及び監事の任期満了に伴う役員改選を実施
新型コロナウイルス感染症の影響により、卒業式を縮小、
卒業記念パーティー中止となったため、昨年に続き駒木会
PR活動も中止となりました。
- 3月15日 卒業生へ向けて会長よりメッセージを発表しました。

この他にもWebサイトやソーシャルメディアでの情報発信をしています。

2022年度 江戸川大学駒木会収支報告

2023年3月31日

【前年度繰越金】

合計	¥ 120,366,775	
----	---------------	--

【収入の部】

校友会費(終身・5ヶ年会費)	¥ 17,458,500	(終身564・内1名分納(完納)<継続0> 5か年0<継続0>)
利息	¥ 1,001	
合計	¥ 17,459,501	

【支出の部】

同窓会報および 総会案内発送費	¥ 1,380,390	
ホームカミング・デー開催費	¥ 0	
学園祭パンフレット広告費	¥ 0	
情報発信強化	¥ 80,033	Webサーバー利用費・ドメイン利用料 会報作成用ソフト
交通費・通信費・消耗品費	¥ 3,472	
合計	¥ 1,463,895	

【翌年度繰越金】

翌年度繰越金	¥ 136,362,381	【前年度繰越金】+【収入】-【支出】
--------	---------------	--------------------

2024年度予算案

品 目	金 額
同窓会報および総会案内制作発送費	¥ 1,800,000
ホームカミング・デー開催費	¥ 1,550,000
学園祭パンフレット広告費	¥ 50,000
交通費・通信費・消耗品費	¥ 300,000
会員サービス強化費(住所追跡・情報発信)	¥ 1,000,000
合 計	¥ 4,700,000

住所変更などの手続きはお忘れなく

次のような場合は同封のがき又は、住所変更フォームにて変更手続きをお願いいたします。

- ・住所の変更(市町村合併を含む)
- ・会報が届かない
- ・結婚等で氏名が変わった

<https://forms.gle/3JtB3JV7EeP4uZt59>

また、住所に変更が無いにもかかわらず会報が届かないという方は、登録情報を確認・修正させていただきますので、お問い合わせください。



総会報告

2022年度 第23回駒木会総会のご報告

詳細や関連資料についてはWebサイトの総会報告をご覧ください。

活動報告及び決算

- ・2021年度活動報告
 - ホームカミング・デーの中止及び駒木会総会の開催
 - 駒木会報第21号の制作
 - インターネットでの情報発信
 - ・その他新型コロナウイルス感染症の影響及び対応について
 - ・2022年度中間報告
 - ・2021年度会計報告(会報22号に掲載)
- なお、決算については監事による監査を受けております。

審議事項

- ・2023年度活動計画(会報22号に掲載)
 - ・2023年度予算計画(会報22号に掲載)
- 全ての案件が賛成多数により可決されました。

役員選挙結果及び執行部役員について

2023年3月4日に下記の通り、任期満了に伴う駒木会役員選挙を実施しました。

選挙規程第10条3及び第12条2に基づき、同日開催された評議員会において信任投票を実施し、全員が信任されました。

このため、執行部役員は下記の通りとなります。会則改定により今回から任期は1期2年となるため、2023年4月1日から2025年3月31日までとなります。

役 職	氏 名	卒業時期	学科
会 長	小川 誠一	第 13 期	マス・コミュニケーション学科
副 会 長	大久保 芙美	第 17 期	情報文化学科
事務局長	大中 二郎	第 3 期	応用社会学科
理 事	林 香織	第 9 期	マス・コミュニケーション学科
	宮崎 頭嗣	第 7 期	マス・コミュニケーション学科
	芝江 裕紀	第 14 期	マス・コミュニケーション学科
	葉山 海太	第 19 期	ライフデザイン学科
監 事	塩見 智弘	第 5 期	マス・コミュニケーション学科
	金田 千秋	第 19 期	ライフデザイン学科

会費納入のお願い

駒木会の運営は、皆様の会費によって支えられております。ご協力をお願いいたします。

会費納入につきましては永年/5ヶ年からお選びください。2010年度入学者以降は学納金と同時徴収のため永年会費納入済みとなります。

■永年会費 : ¥ 30,000 (今後会費納入の必要は一切ございません)

■5ヶ年会費 : ¥ 5,000

※初回納入の場合、別途入会金 ¥ 1,000

また、寄付も受け付けております。

払込取扱票記入事項(ゆうちょ銀行)

■口座番号: 00110-3-67407

■加入者名: 江戸川大学駒木会

■金 額: 納入金の総額

■通信欄: 納入金内訳(永年会費・5ヶ年会費・寄付金)

卒業生ご本人の現在のお名前と住所、在学当時の学籍番号

(会報送付封筒に記載しております)

■支払人住所氏名: 会費をご納入された方のお名前と住所
お手数をおかけしますが、どうぞよろしくお願いいたします。

駒木会活動方針

2024年度駒木会活動計画

駒木会では卒業生同士のつながり「卒業生ネットワーク強化」をキーワードとして、各事業への卒業生参加の推進、卒業生の住所追跡事業、情報発信機能の強化などに取り組んでまいりました。

一方、役員・スタッフの不足によりこれらの活動に十分取り組めていないという現状に加え、新型コロナウイルス感染症の影響によりイベント開催ができないなど、厳しい状況が続いてきました。

このような状況でも駒木会の活動を継続できるよう、「持続可能な駒木会」をテーマに、組織のあり方や制度などの見直しを進めていきたいと考えております。

【組織運営】

2020年に実施した会則改定により、各会議へスタッフが参加しやすい制度となりました。引き続き役員・スタッフの一人あたりの負担を削減し、参加のハードルを引き下げ、より多くの方にご参加いただけるよう取り組んでまいります。また、在学生にも駒木会の活動を知っていただき、卒業後の参加につながるような取り組みについても検討してまいります。

【制度面】

理事会と評議員会の区別があいまいだった運用を見直し、評議員会については会議で拘束される時間を極力短縮するなど、参加しやすい仕組みづくりに取り組んでまいりました。

一方、依然として限られた人員で運営せざるを得ない状況のなか、一部役員の任期（通算10年）という制約により、今後の運営が困難となることが想定されます。このため、会則改定で再任の制限を一部緩和することで対処したいと考えております。

駒木会会則改定案について

駒木会では、制度や運用の見直しにより、スタッフとして参加しやすい仕組みづくりに取り組んでまいりました。

一方、依然として限られた人員で運営せざるを得ない状況のなか、一部役員の任期（通算10年）という制約により、今後の運営が困難となることが想定されます。このため、会則改定で再任の制限を一部緩和（通算10年→連続して10年）することで対処したいと考えております。

具体的には第15条（役員の任期）について、会長・副会長・監事が「1期2年、通算10年まで再任を妨げない。」とあるのを、「1期2年、連続して10年まで再任を妨げない。」へ変更するものとなります。

この案は第24回駒木会総会で提案し、承認された場合、2023年12月1日より施行されることとなります。

駒木会からのお知らせ

●卒業生在籍企業からのご提案の募集

駒木会では円滑に事業を進めるため、卒業生の皆様が在籍している企業等からの駒木会業務に関するご提案を募集しています。

詳細はWebサイトをご覧ください。

●卒業生の記事を募集中!!

現在の近況報告などの記事、コラムを会報やWebサイトに掲載できますので、お気軽に駒木会事務局までお問い合わせください。

ぜひ写真なども添えてコメントをお寄せください。会報・Webサイト、SNS等で紹介させていただきます。

●駒木会の活動に参加してみませんか？

コロナ禍で、人と会う機会が減り大学との繋がりも減ってしまい寂しいと思っていらっしゃる方は、駒木会スタッフとして参加してみたいいかがでしょうか。

今のスタッフにも駒木会の活動で知り合った仲間がたくさんいます。1日だけ、メールでやり取りするだけなど、様々な参加の方法があります。

駒木会事務局に、メールなどにてご連絡ください。

●編集後記

編集後記のネタをどうしようかと考えていたら、大学を卒業してから十年を超えたことに気付いてしまいました。

自分も歳を取ったな…と身体中から上がる痛みで実感し、ちょうど十年のタイミングで編集後記を書けばネタになったのに!と強い悔しさを感じました。

さて、この同窓会組織である駒木会とも十数年の付き合いになります。はじまりは学生の頃。卒業記念委員で存在を知り、そのままお声掛け頂いてズルズルと……いや、微力でも力になればと参加しました。

ホームカミングデーの受付や司会の準備に「人手が足りないね～」と諸先輩方と額に汗を流してバタバタと動き回りました。ただ、コロナで開催できない年が続くと、あの忙しさがちょっとだけ恋しくなるのだから不思議なものです。

しかも、年に一回のペースで、お世話になった教職員の方や友人、なんとなく見覚えのある同窓生を観察できる貴重な場だなと書きながら思案し、ちょっとだけ「七夕」に似た空気感を感じました。「あの人はいま何してるかなあ」と7月7日の夜空を見上げ、11月3日に皆様にお会いできることをお祈りして……。 (K)

【会員サービス】

これまでの「卒業生ネットワーク強化」という方針を継承し、会報発行等を継続的に実施してまいります。

・卒業生データベース整備事業

卒業生の住所追跡及び卒業生データベースの整備を引き続き推進いたします。

また、外部委託化による業務効率化やサービスの充実などを検討してまいります。

・ホームカミング・デーの継続的实施

総会とともに実施している「ホームカミング・デー」は毎年100名を超える方々にご出席いただいております。駒木会としては最重要イベントと位置づけています。

新型コロナウイルス感染症の影響でホームカミング・デーや交流パーティー、各種イベントの開催ができない状況が続いていましたが、5類感染症への移行を契機に、2023年度はホームカミング・デーを開催することとなりました。

2024年度についても開催を予定していますが、実施方法などについては社会の状況や他大学同窓会の事例などを参考に検討を進めてまいります。

・情報発信の強化

会報などの紙媒体だけではなくWeb、ブログ、X(旧称Twitter)、Facebookなどを活用した情報発信を行ってまいります。

また、卒業生データベース整備事業と合わせ、会報の到着率向上を目指してまいります。

※会報が届いてない方は住所変更手続きをお願いいたします。

駒木会から最新情報を発信中

駒木会ではWebサイトや各ソーシャルメディアでの情報発信を行っています。ぜひご覧ください。

■Webサイト <https://komakikai.jp/>

駒木会からのお知らせや会報バックナンバーなどを掲載

■みんなのBLOG <https://ameblo.jp/komakikai/>

大学近況やイベント詳細情報などを掲載

■X(Twitter) https://twitter.com/komaki_kai/

最新情報やちょっとした小ネタを発信中

■Facebook <https://facebook.com/EdogawaUniv.Komaki>

大学のニュースなどをピックアップしてご紹介

駒木会ではこれからも情報発信機能強化を目指して取り組んでまいりますので、ご意見・ご感想などありましたら駒木会事務局までお寄せください。

親子割・きょうだい割のご紹介

江戸川大学建学の精神を継承することを目的とした学費等の減額制度があります。

■親子割・・・

対 象：江戸川大学・短期大学・女子短期大学を卒業した者の戸籍上の子で、江戸川大学の正規課程1年次入学者。

免除額：入学金(32万円)を全額免除。授業料、施設設備費、維持費及び実験・実習費の納付年額の半額(55万円)を入学後4年間免除します。

■きょうだい割・・・

対 象：江戸川大学・短期大学・女子短期大学を卒業した者の戸籍上の子で、江戸川大学の正規課程1年次入学者。

免除額：入学金(32万円)を全額免除。授業料の納付年額の半額(35万円)を入学後4年間免除します。

詳細は入学課(0120-440-661)までお問い合わせください。

●駒木会への連絡先

■メールアドレス komaki@edogawa-u.ac.jp

■郵便 〒270-0198

千葉県流山市駒木474

江戸川大学駒木会事務局

■電話 04-7152-0661(江戸川大学代表)

駒木会事務局 大中(おおなか)

住所変更フォームはWebサイトにごございます。

■Webサイト <https://komakikai.jp/>